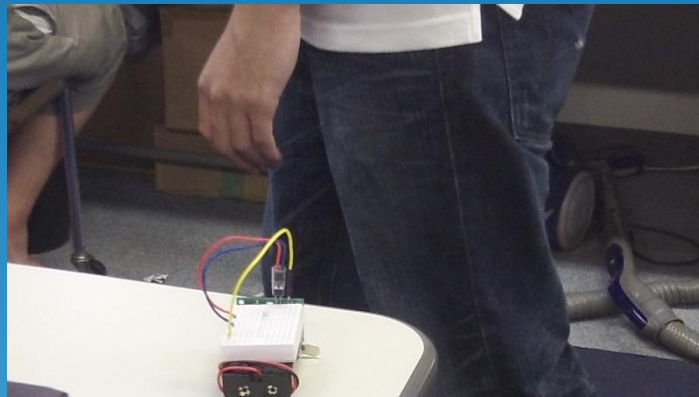


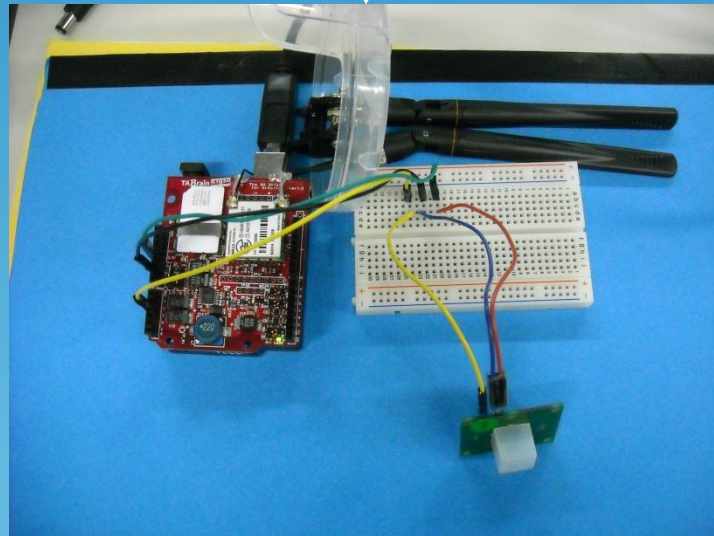
わいっちめ提案概要図

- ・ Arduino含む親機をコンセントから電源のとれる任意の場所に設置。センサを搭載したXbee 2台を測定したい任意の場所に設置、2か所のセンサーで通過した人数、行列の処理の速さより待ち時間を予測する。



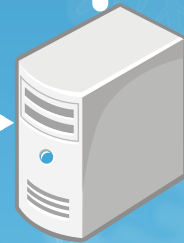
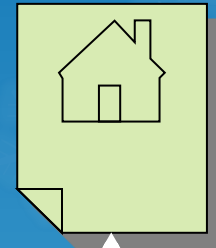
Xbee+赤外線センサーを
2台

本体
(3Gシールド
+Xbeeシールド
+Arduino)

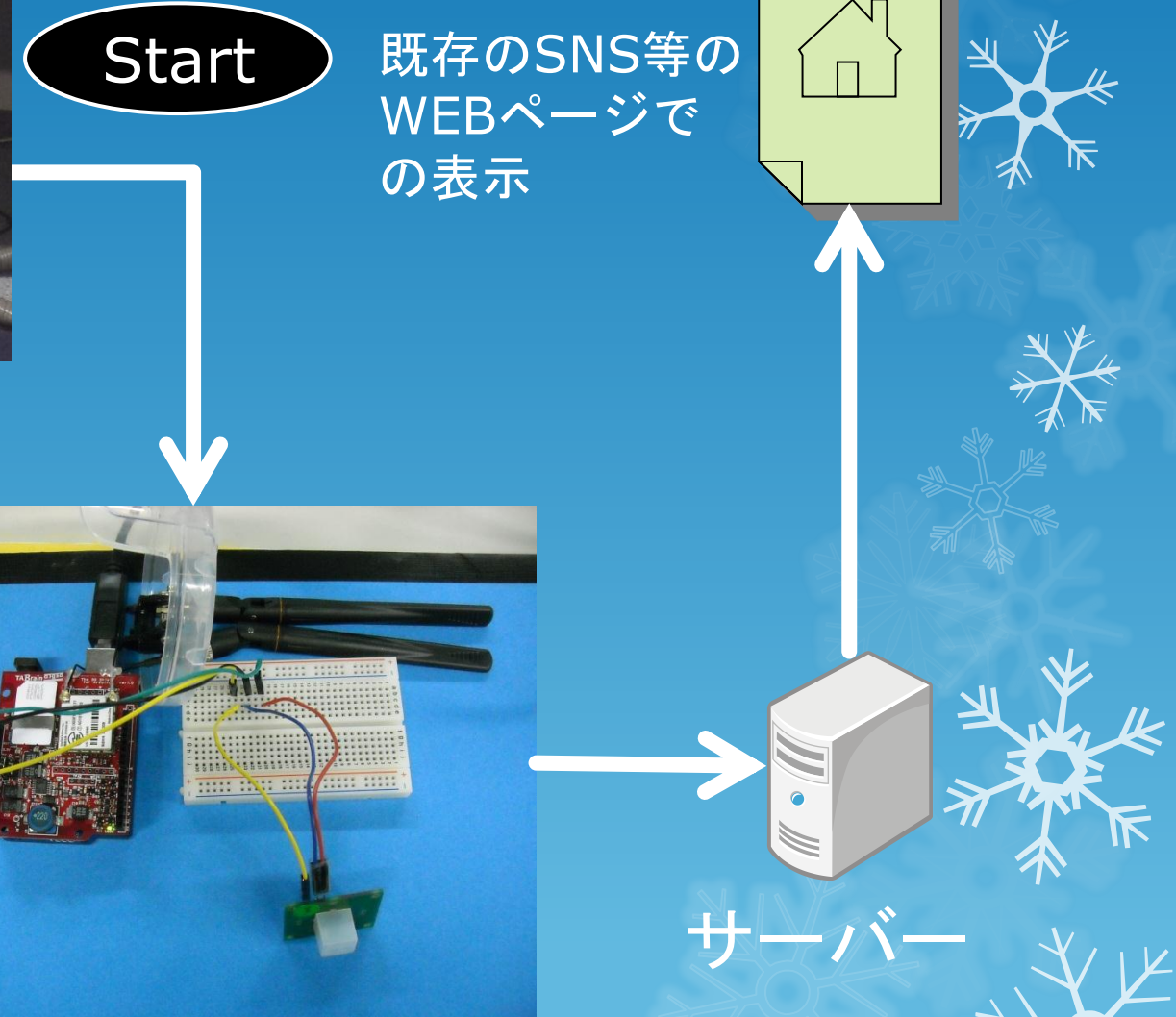


Start

既存のSNS等の
WEBページで
の表示



サーバー

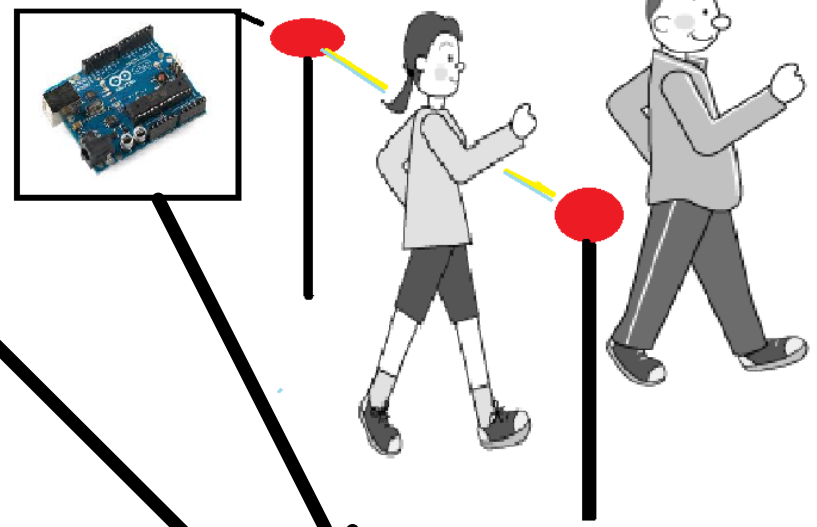
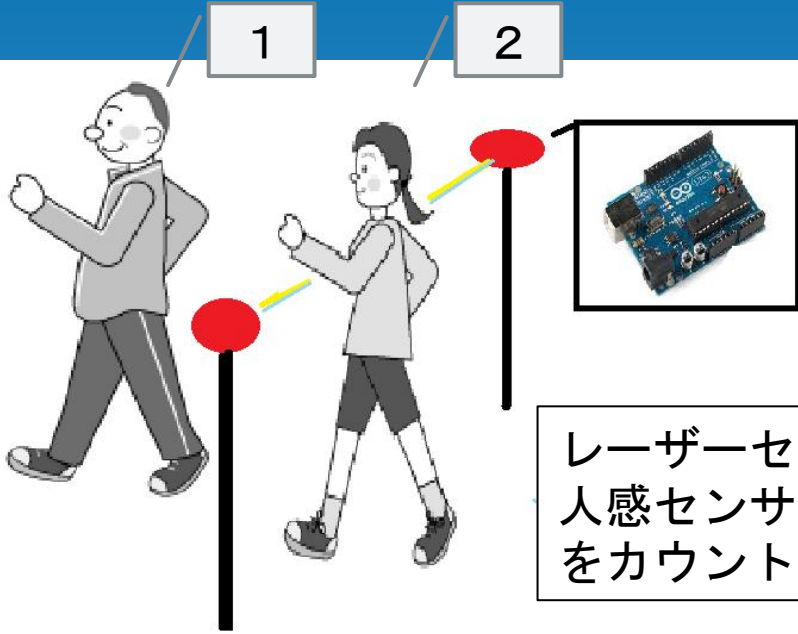


イメージ図

入り口

出口

速度
レーザーセンサ



レーザーセンサと人感センサで人数をカウント

情報をサーバーに集計

アトラクション等



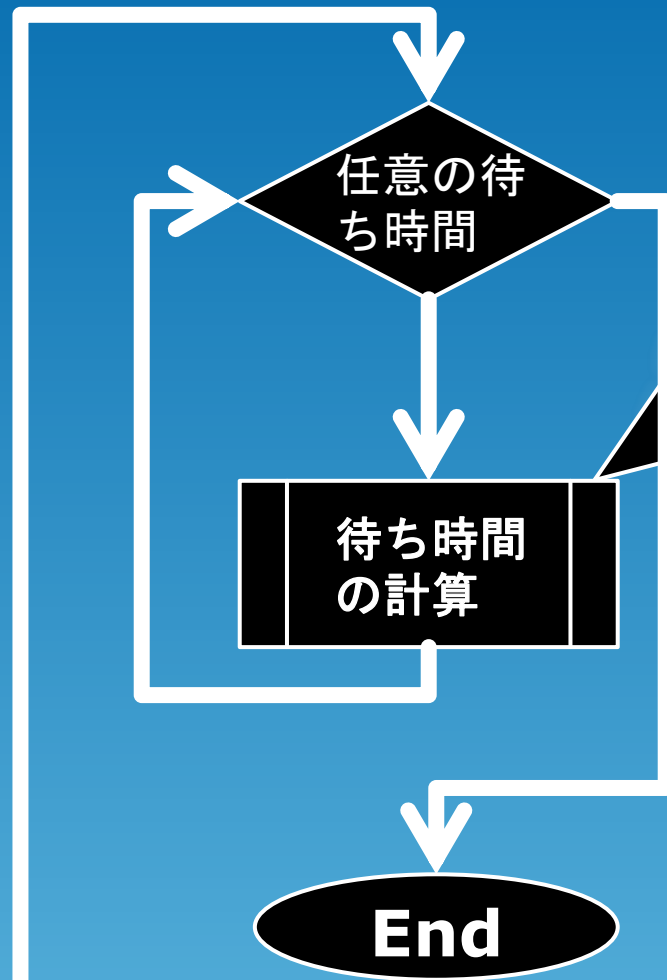
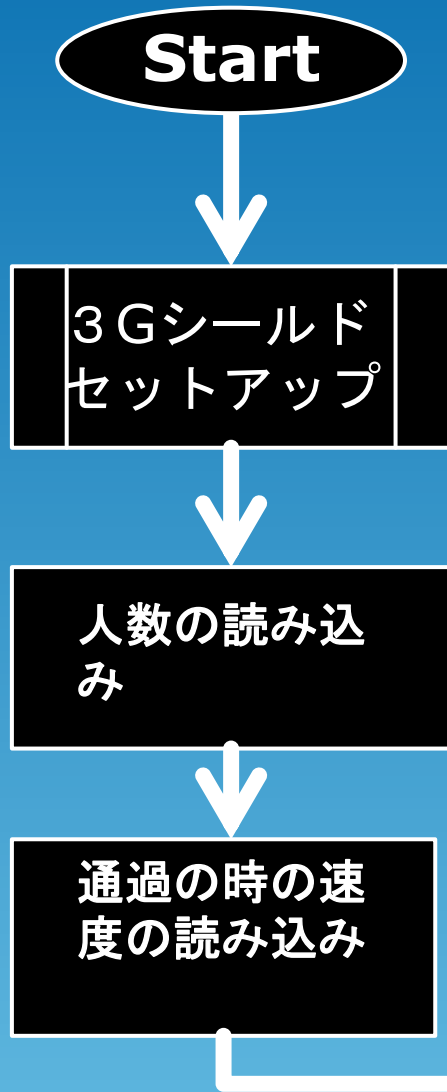
一回の所要時間
と客の収容人数

インターネット上に公開



情報を元に待ち時間を算出

処理の流れ



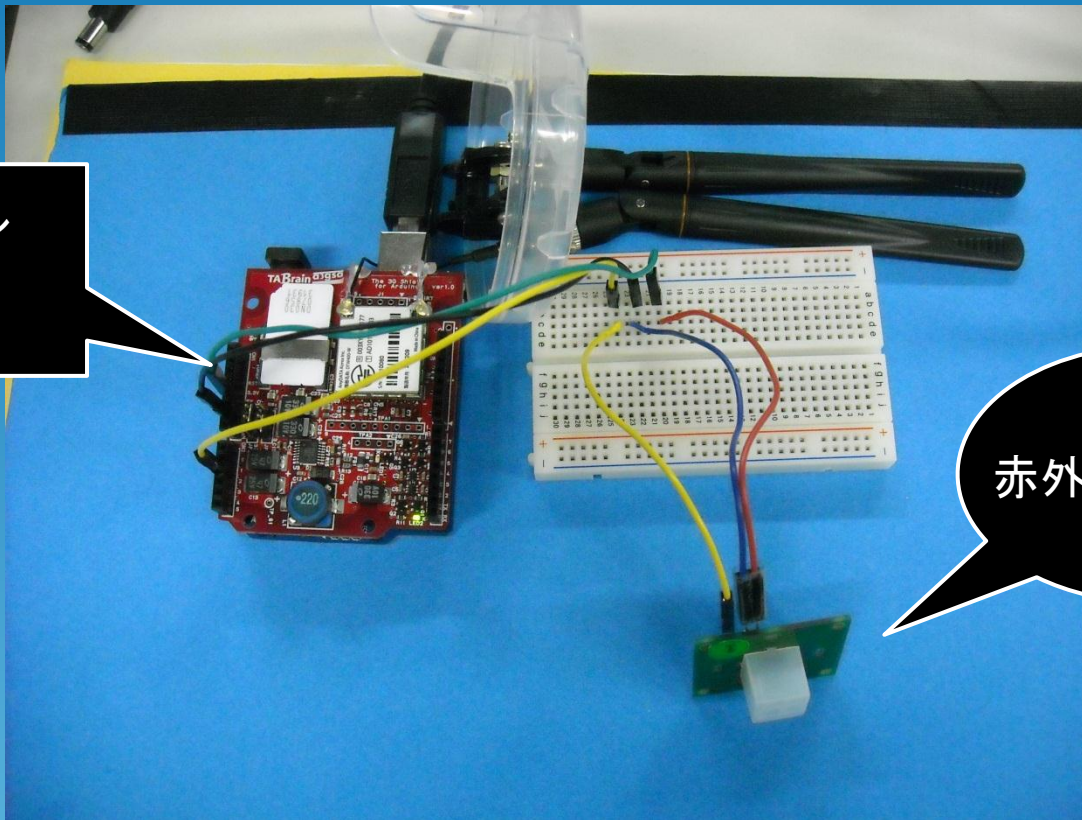
計算用関数
数値を読み
込んだ場合
出て行った
人数から考
えて計測し、
計測でき次
第順次3G
シールドに
よりHPサー
バーに送信

製作が間に合わなかった部分

- Xbeeでのセンサー
- 人間が通過するときの速度を計算
- 待ち時間の予測
- 正確な人数カウント

現時点でのテスト機器の構成

3Gシールド
ド+
Arduino

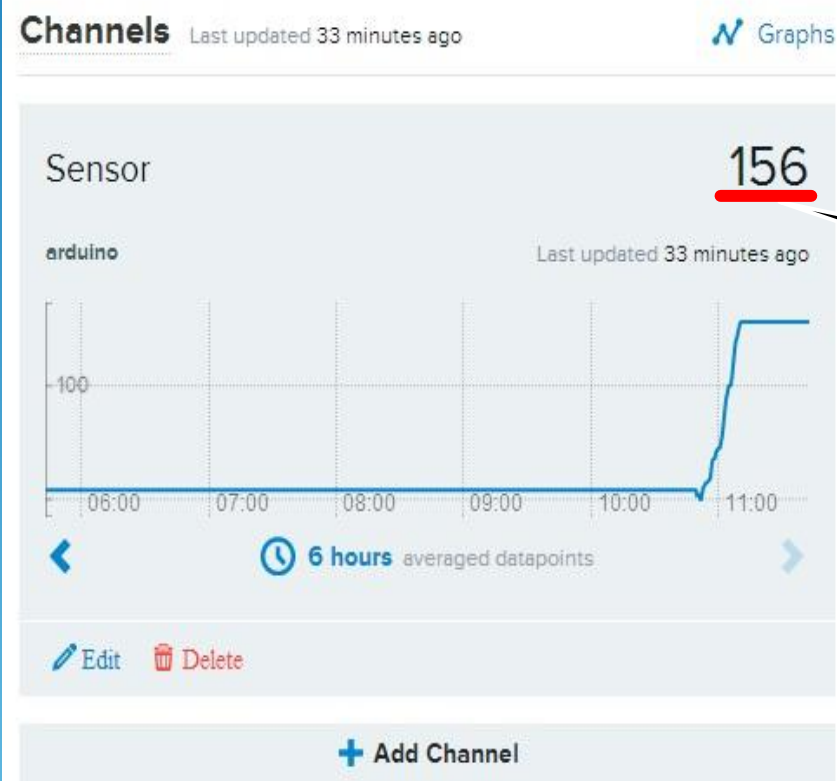


赤外線センサー

※電源はACアダプタを使用する。



人がセンサーの前を通過すると



通過した人数がこの部分に表示される

Request Log Pause

200 GET feed 11:45:05

API Keys

人がいつ通過したのか一人ずつの通過した時間をログとしてみる事ができる。

既存のホームページでのテスト環境